

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 環境政策課 ☎24-5257

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)	
		11/20～11/27	11/27～12/4
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.022
	南相馬市就業改善センター (飯崎)	セシウム134	不検出
		セシウム137	不検出
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.04
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.015
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	不検出
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出
		セシウム137	不検出
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.019
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.016

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)	
		11/20～11/27	11/27～12/4
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	不検出
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出
		セシウム137	不検出

※検出限界値はおおむね0.02～0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定毎に変動します。放射能濃度の値が検出限界値未満の場合には、「不検出」とされます。

● 渡邊正己 京都大学名誉教授
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説 ●

南相馬市は大気中に漂う浮遊じんとその降下物に含まれる放射能濃度について年間を通じて測定し、市民の健康への影響を評価しています。2024年は、一年を通してセシウム137以外の放射性核種の存在はほとんど確認されず、セシウム137についても、その量は極めて微量で健康に影響を及ぼす恐れはありませんのでご安心ください。